



# 飯能ロータリークラブ会報

桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

<p><b>奉仕しよう みんなの人生を 豊かにするために</b></p>	RI会長 シェカール・メータ
	2570地区ガバナー 水村 雅 啓
	第3グループ ガバナー補佐 和泉由起夫

もっと夢を もっと奉仕を More dreams More service

## 第3002例会 2022. 3. 2

—— 水 と 衛 生 月 間 ——

天 候 晴 (NO. 58-35)

会 長 高 橋 弘 幹 事 大 野 康

例会日 水曜日(12:30~13:30)

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

### 《オンライン例会》

- ・点 鐘 高橋会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト唱和  
神田(敬)職業奉仕委員長

### 【会長報告】

2/27(日)はお蔭様をもちまして当クラブがホストを務めました第3グループIM(Intercity Meeting)が盛大に開催され成功裏に終える事が出来ました。さまざまな皆様のご尽力とご協力の賜物でございます。まずはホストクラブの会長として心から御礼を申し上げたいと思います。当日は初めてのYouTube配信で182名(うち飯能40名弱)、会場参加者総計80名、計240~250名の参加という事で行いました。

クラブのHPのリニューアルも終わり、内容の充実に現在努めているところで、今回のIMの動画もすでに編集の上、貼り付けてございます。どうぞご利用ください。会報は10年遡って閲覧可能です。今後は各会員の事業所紹介やHPへのリンクが貼れるように進めて参ります。さらに、飯能RCはさまざまな歴史を残しており記念誌も多く作られてきました。こういったものもHPで誰でも閲覧出来る態勢も整えていくことも考えております。

本日は1名の新規入会者について理事会で



ご承認頂きました。会員皆様にはFAX、メール等でご承認をお願い致します。

また本日は飯能RCの「ゆるキャラ」を作るという事が決定されました。制作につきましては大変高度な技能をお持ちの吉田行男先生にお願いさせて頂きたいと考えており、ご本人からも内諾を頂いております。皆様からもアイデアを頂戴出来ればと思っております。

コロナの時代にも負けず皆で結束して一つの型を創り上げていければと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

### 【幹事報告】

先程、第10回理事会を開催。第9回議事録確認。4月例会より通常開催。最初の例会で入会式を行います。RIレート1ドル116円。入会3年未満の方は4/17地区研修セミナー

一、新会員オリエンテーションがあります。お知らせはメール等で致します。

### ◎和泉ガバナー補佐「IMについて」

2/27 第3グループIMにご協力頂き誠に有難うございました。非常に好評でございました。実行委員長の神田(康)さんが残念ながら病のためお休みされており、新井、矢島(巖)副実行委員長、中里(昌)相談役、各委員会の皆様のご活躍誠に有難うございました。会場参加およびYouTube参加の皆様に全員登録、全員参加で臨んで頂きました。参加出来なかった方はYouTubeで3月下旬まで視聴可能です。YouTubeを使うという画期的な事が地区でも話題になっており、参加し易くて良かったと思っております。“ニューノーマル”の時代、新しい事をどんどん進めて頂けたら有難いなと思っております。

### 【委員会報告】

◎親睦活動委員会 大野(泰)君

4/15(金)日高RCとの合同親睦ゴルフコンペの開催が承認されました。多くのご参加をよろしくお祈りします。

◎地区研修委員会 小川君

4/17(日)研修セミナーの講師3人のうち1人は私です。A・F・シェルドンについて話します。多くのご参加をお待ちしています。

### 【卓 話】

## イニシエーション・スピーチ

飯能RC 大嶋研一 会員 (R3年6月入会)

飯能RC 永安寺 純 会員 (R4年1月入会)

### 大嶋会員

埼玉りそな銀行飯能支店の大嶋です。入会してまもなく9か月。



この間、多くの方にご助言ご支援を頂きました。改めて感謝申し上げます。

山口県岩国市の生まれですが1歳の時に父の転勤で東京・三鷹に転居したので、生まれた場所に地元の感覚はありません。三鷹は当時大企業の社宅等多く転校する生徒も多くてウェットと言うより学校の友人も入れ替わり立ち代わり。そんな地域でした。中学入学時に現在の実家のある千葉の外房、茂原に転居。祖母の庭に父が家を建て、以降、高校までの6年間を過ごしました。所謂田舎で非常にウェットな土地柄。表面的には上手くやっております

したが正直明らかに私は外様の位置付けで、地元感がもてなかったのを覚えています。ですのであまり千葉には愛着がもてず、口うるさい親元を離れたいという思いもあり、大学は“一人暮らしが出来る所”という条件で親と交渉し、中学の頃から希望大学をさっさと決め、こつこつ取り組んでいました。希望する大学に現役で無事合格出来たので取り組み自体は成功したと言えるのかなと思っております。今になってみると非常に小さくまとまった生き方をしたなという感覚はもっております。もっといろんな事を経験して自由に活発にといい時代があっても良かったかなとも思いますが、計画的に粘り強くやるという私らしさは発揮出来た時代だったと思っております。

社会人になるまでは大きな挫折も知らず概ね順風な生活を送っていたのかなと思っております。転機は大学4年の就職活動の時。急性肝炎を発症、1か月程入院する事になりました。就職活動の真っ最中で当時は就職氷河期、リクルーター制全盛の時代。退院した時には希望する銀行への道は残されていないという状況になっていました。やむなく父に頭を下げ翌年再チャレンジさせてもらうという了承を取り付け、1年余分に大学生活を送っています。発症原因は私の不摂生ではなくウイルス性の母子感染だったという事もあり再チャレンジを快諾してもらったのですが、その時、父親の器の大きさというのを感じたのを覚えています。今、大学生の息子から同じような事を言われたら果たして快諾出来るか、と思うような、そんな出来事でもございました。

1年余分に延びて得た時間は退院後1年半程あったので、一旦休学して3か月程度の語学留学をしようと準備を進めていたところ、米国に出発する1週間前になって肝炎を再発。再度1か月の入院を経験し、年末年始を病院のベッドの上で過ごす事になりました。健康には自信のあるタイプだったので1年のうち2か月も入院生活を送る羽目になり、大学も卒業出来ず就活はやり直し。かなりショック、平たく言うと凹んだというような思いをグズグズともっていたと記憶しています。

翌年、晴れてあさひ銀行(当時)に入学したのですが、体調面で苦労し、数年間は週3回程注射を打ちながら就業。2年目には体調を維持出来ず、銀行員生活は続けられないと思いつつ転職を決意。地元の市役所の採用試験を受けて合格し、転職ぎりぎりのところまで進んだのですが、その後、体調が安定したので、いろんな方にご迷惑をかけたと思うのですが転職は中止し、今に至っています。蛇足ですが、転職していれば妻とは出会えていなかった事になり、思い止まって良かったという事にな

るのかなと感じております。

私は自己成長をテーマに社会人生活を送って来ましたので、全ての出来事には何かしら得るものがあると考えて前向きに取り組んで来ました。病気も自分の不摂生等ではない中で起きたもので、自分の努力ではどうにもならない事が起きた時に何をしたかが大事だろう、これも糧に出来るのでは、というふうに捉えて前向きな意識をもって生活しました。結果、何を得たかと言えばストレス耐性が身に付いた位なのかもしれませんが、その後の銀行員生活でストレスを感じる時も、当時感じたストレスをベースに「ここまでは耐えられるな」という拠りどころが出来た事は結果的には大きかったのかなと感じております。

「全ての事に得るものが」という表現をしましたが、正直、現在はまだくすぶっている事が一つございます。皆様には大変ご配慮を頂きましたが、秋口に息子を急に亡くした事。ここだけは正直まだ自分の中で折り合いと言うか消化出来ていない状況です。引き続き精進したいと考えております。

私共「りそなグループ」は「りそなショック」という忘れてはいけない出来事を起こしています。税金をお借りして再建に取り組ませて頂いたわけですが、ご迷惑をおかけした一方で、社内では優秀な人間が同期も含めて大勢転職、同世代が抜けていくのを見てきました。当時川越支店に居たのですが、県内の店舗ではなく、担当していた温かいお客様に支えて頂く事がなかったら私も転職していたかもしれません。現在は公的資金の返済は終了していますが、私共の銀行は当時のご恩をしっかり返していかないといけないという思いを強くもって取り組んでいる次第です。

十数年前、りそなグループの新卒採用の業務に従事していた時に感じた事は、心に強く残っています。人との出会い、そこからの学びというものを求めて銀行に入ったわけですが恥ずかしながら当時の自分には地元への愛着とか地域貢献といった思いは全くありませんでした。一方で、採用担当として延べ千人以上の学生と会う中で、優秀な学生もたくさん居たのですが、最後は地元埼玉への愛とか熱意をもつ学生に私は強く魅力を感じたのでした。グループ一括での全国採用だったので組織としては「埼玉」へのこだわりというのはあまり良くなかったのかもしれませんが、私が面接官として採用していった人間は結果だけ見ると埼玉愛に溢れた、埼玉出身の方が比重として大きかったかなと思っています。私自身、埼玉県内で働いてきたからこそその思いかなとも感じております。つい先日、埼玉出身の妻と結婚して20年になりました。銀行に出入

して埼玉に住み始めて4月で25年。入るまでは埼玉に縁もゆかりも無かった人間ですが今ではすっかり埼玉県民になり地元意識や愛着というものも強くもっている、そんな状況です。埼玉で働く事が出来て良かったと心から感じていますし埼玉に貢献する意識も有するに至った中で、こうしてRCに入会させて頂けた事も非常に有難い機会を頂いたなというふうに改めて感謝しております。

最後になりますが、私はサラリーマンです。会社から与えられた役割が変わると働く場所を移さなくてはいけない立場ではあります。支店長として1つの所で勤められるのは概ね2年から2年半。もうじき折り返しに近い位の期間を飯能支店で費やしております。限られた時間ですが、その中で自分をさらけ出して、皆様とお付き合いさせて頂き、皆様から多くの事を吸収して人間として成長していきたいと考えておりますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。

本日は有難うございました。

#### 永安寺会員

武蔵野銀行  
飯能支店、支  
店長の永安寺  
です。よろし  
くお願い致し



ます。生まれはS45年、51歳です。毛呂の埼玉医大で生まれました。実家は日高市の日高団地。現在は坂戸市に住んでおります。高萩北小学校の時には「高萩北アンタレス」サソリです。そのスポーツ少年団に4年生から入って、夏は野球、冬はサッカーをやっておりました。当時から飯能大会というのがあり、優勝して埼玉新聞に載った事もあります。高萩北中学校、川越西高校と野球部。ポジションはファーストかセンターでした。昔はスポ少でも水とか飲ませてもらえず相当苦しんだ思い出があります。今は水分補給がありますが当時は「血液が薄くなるから水は飲んじゃいけない」とかで飲ませてもらえず、「うがいに行ってきます」とか言って水をがぶがぶ飲んだり、タオルに水をしみ込ませて吸って飲んだり、そんな事もしました。小学校4年生から高校の部活まで、しごきだとか厳しい事とかもいろいろありましたが、やめない事、続ける事というのが自分には備わったかなと、今、振り返るとそう思います。

草加市にある獨協大学経済学部経営学科に進学。野球のサークルには入りましたがほとんどアルバイトをしていました。1年の時は友達5人で伊豆にある「今井荘」で1か月泊まり込みのアルバイト。旅館の大変さがよく分

かるという経験をしました。2年生からはパチンコ屋でアルバイト。卒業まで3年間続けました。私はギャンブルとかは負けると悔しいのでやらないのですが、友達の紹介で入ったのです。パチンコと言うとヤクザとかがやってるんじゃないかという事で怖いイメージがあったのですが、実際アルバイトに入ってみると近所の埼玉大学だとか東京理科大とかの大学生ばかりで、とても楽しく過ごさせて頂き、バイト仲間とスキーに行ったり飲み会をやったりして過ごしました。

4年生から就職活動が始まったのですが、いろいろな業界を見て回って、実際のところ本当にどの会社が良いのか全く分からない状態でした。当時給料が高かったゼネコンとか有名企業ばかり会社説明会に行っていたのですが、都内での説明会に行くのにいつも満員電車に乗っていて、「この満員電車に毎日乗るのは難しいな」という事で埼玉県内の企業に絞って活動し、ご縁があって武蔵野銀行に就職したという事になります。

H5年4月に入行して上福岡にある大井支店に配属。1年間は研修で、まずは振り込みとか為替の係に3か月入って、入力ミスとかで課長に怒られたりしました。その後、現金を扱う出納係を1か月。この時もベテランの女性行員の機嫌を取ったりするのが大変だった事が思い出に残っています。さらに融資課8か月。ほとんど受け身の仕事で新入行員時代が終わりました。

でも上司には恵まれて、仕事が終わった後、毎日のように飲み屋に連れて行ってもらっている教えて頂きました。今はコロナとか、誘っても若い人は来ないとかありますが、当時は本当によく面倒を見て頂いたと思います。2年目には同期では一番早く外に出されました。事務ミスが多くて捨て駒として外に出されたのではと当時は思っていたのですが、外回りはいろいろお客様にお会いする事が出来て、とても自分に合っている仕事だなと思いました。最初はみそっかすみたいな扱いで、「お金を間違えずに預かって来ればいいから」という事を言われ、自分も支店の業績に少しでも貢献しようと先輩に負けまいよう努力していた思い出があります。大井支店には2年6か月居り、多くの人に面倒を見て頂いて、初めての支店だったので、転勤の挨拶の時には泣いてしまったという事がありました。それ以来は一回も泣いてないんですけど。初の転勤の時の思い出です。

2か店目は東松山支店でした。自動車部品を製造している会社が多い地域で、当時企業担当に憧れていたの自分から手を挙げて企業担当にさせて頂きました。その時、26歳で

今の妻と結婚しました。大学時代の友達で大学は違うのですが同学年、4年生からの付き合いでした。日体大のライフセービング部の主将で、卒業後は浦和学院の体育教師、現在は松山女子高校の養護教諭をしております。結婚して浦和学院まで通うのは大変という事で一旦辞めて公務員を受け直したという経緯があります。

私は所沢支店、蕨支店と法人の新規開拓をやり、その後、本部の人事部人材育成グループに行きまして、大嶋支店長もおっしゃられていましたが新卒の採用と各部の研修を担当しました。新卒の採用に関しては、面接はもちろん、各大学で実施する就職説明会にお邪魔して教室を借りて学生に業務の内容を説明したり、東京ビッグサイト等の就職のイベントで当行のPRをしたりしました。

久米川支店が出来る前の新規開拓活動で西東京オフィスに行きまして開拓活動をし、その後、営業課長として2回目の東松山支店に着任。新規企画があるという事でまた人事部に行った後、高坂支店の次長、東京支店の次長と異動しました。東京支店は神田にあり、東上線で池袋、丸ノ内線で13分で淡路町、そこから歩いて5分位の所。「満員電車は辛い」と思ってせっかく埼玉の銀行に入ったのに何で東京支店なんだと思ったりもしましたが、東京は東京でなかなか良くてですね、神田は食べ物の名店が多く、神保町には古書店街もあるし、日本橋も歩いて10分位。散歩にはもってこいの所でした。

R元年、2019年10月、初めての支店長という事で横瀬支店に配属。昨年9月に飯能支店の支店長として着任させて頂き半年が経ちました。コロナで十分な活動が出来ず、まだ分からない事が多いのですが、飯能のお客様に役立つよう支店一丸となって頑張りたいと思っています。

最後に、この度、歴史のある飯能RCに入会させて頂きまして、奉仕の理念をしっかりと勉強して、少しでもお役に立てるよう努めて参ります。今後ともご指導よろしくお願い致します。

本日は有難うございました。

2022年5月のプログラム  
(月間テーマ 青少年奉仕月間)

月 日	例会数	行 事 予 定	当 番 [担当委員会]
5. 4	3011	例会取消(祝日)	
5.11	3012	卓話「キャスターからみた飯能」 大久保智美様	鈴木(勝)君 坂本(厚)君 [国際奉仕]
5.18	3013	卓話「(県政報告)「イノベーション」 県議会内沼博史様 議員	【雑誌紹介】 塩川君 佐々木君 [青少年奉仕]
5.25	3014	例会取消(コロナ感染防止対策)	